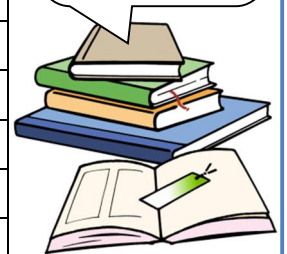


読みやすい大活字本

図書館には、通常の本よりも大きな活字で印刷された大活字本があります。「本の字は小さくて読みづらい」という方に、おすすめの本です。大活字本の一部をご紹介します。

請求記号	タイトル	巻号	著者名	出版者	所蔵館
913.6/イケ/	幕末新選組	上・下	池波正太郎／著	埼玉福祉会	本館
911.1/タ/	短歌をよむ		俵万智／著	埼玉福祉会	本館
913.6/カセ/	八丁堀育ち		風野真知雄／著	埼玉福祉会	本館
913.6/サエ/	捨剣	上・下	佐江衆一／著	埼玉福祉会	本館
913.6/ミナ/	越前竹人形		水上勉／著	埼玉福祉会	本館
913.6/ナカ/	完本保科肥後守お耳帖	上・中・下	中村彰彦／著	埼玉福祉会	本館
913.6/シゲ/	とんび	上・下	重松清／著	埼玉福祉会	本館
913.6/ヒガ/	手紙	上・下	東野圭吾／著	埼玉福祉会	本館
913.6/カワ/	神様		川上弘美／著	埼玉福祉会	本館
498.3/イ/	医者いらずの本		石川恭三／著	埼玉福祉会	本館
913.6/ササ/	駐在刑事	上・下	笹本稜平／著	埼玉福祉会	本館
913.6/シバ/	剣鬼	上・下	柴田錬三郎／著	埼玉福祉会	本館

ホームページには、大活字本の所蔵リストが掲載されています。また、本館・分館にもリストがあります。お気軽におたずねください。



職員のおすすめ《この書き手に注目！》

原田 マハ

(はらだ まは 1962年東京都生まれ)

早稲田大学第二文学部美術史科卒業。ニューヨーク近代美術館に勤務経験あり。2012年『楽園のカンヴァス』(新潮社)で山本周五郎賞を受賞。

今回紹介するのは『暗幕のゲルニカ』(新潮社)です。幼い頃「ゲルニカ」を見てその虜になり、ピカソ研究の第一人者となった瑤子。MOMAのキュレーターとして勤めていましたが、夫を9.11で亡くします。テロへの報復という世論の中、「ゲルニカ」を展示し、アートで反戦を訴えようと尽力します。そんな折、イラクへの空爆の報道がされます。ところがテレビの画面には、国連本部ロビーにあるはずの「ゲルニカ」のタペストリーに暗幕が…。犯人は誰か? 「ゲルニカ」を展示することはできるのか?

20世紀初頭、ゲルニカで起こった悲劇から傑作を生み出すピカソと連れ添うドラ。二つの時代が交錯しながら物語は進んでいきます。『暗幕のゲルニカ』、今だからこそ読んでみてはいかがでしょうか?

(帷子分館 濱口)

西 加奈子

(にし かなこ 1977年イラン・テヘラン生まれ) 『通天閣』(筑摩書房)で織田作之助賞、『ふくわらい』(朝日新聞出版)で河合隼雄物語賞、『サラバ!』(小学館)で直木賞を受賞。

河合隼雄物語賞をご存知でしょうか? 河合隼雄没後、2013年に設立されました。その第一回の受賞作が今回ご紹介する『ふくわらい』です。

「マルキ・ド・サド」という作家の名前をつけられた定は、幼い頃から「ふくわらい」にはまり、他者を「ふくわらい」のパーツでしか理解しようとしなない娘でした。そんな定が、盲目の男性や猪木に憧れるプロレスラー兼作家等、定以上に個性的な人物たちと交わる中で、少しずつ人との距離を縮めていきます。中でも死んだ父親の肉を食べた話をプロレスラーにするくだりは、純粹で清々しく、心惹かれます。このプロレスラーが、実にやっかいで、不器用で、優しく、魅力的な人物です。

西加奈子は、「何を思うか、その判断は読者に任せようつもりで書いている」という作家だそうです。河合隼雄は、「相談者の物語を一緒に考える」という心理学者であり、選考委員の上橋菜穂子は、この本を「物語としてしか命を持ちえない作品」と評しています。そこには、文字や言葉だけでは伝わりきれない何かがあるように感じられます。(桜ヶ丘分館 松浦)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
宗教			
165.3/ナ/	教養としてよむ世界の教典 仏典、聖書、コーランなど、世界の主な宗教の「教典」を概観する一冊。教典をニュートラルな視点で眺め、現代人に必須な「教養」として読みとく。ヴェーダや論語、古事記、ギリシャ哲学、北欧神話にも言及する。	中村圭志／著	三省堂
歴史・地理			
210.4/ア/	「本能寺の変」は変だ! 日本史最大のクーデター「本能寺の変」には、驚愕の真実がまだある？明智光秀の子孫が、秀吉がねつ造し、軍記物に汚染された戦国史を今一度洗い直す。	明智憲三郎／著	文芸社
215/オ/	東海の戦国史 戦国の世を動かした武将たちは、なぜ東海に生まれたのか。東海地域の大名の興亡を中央権力との関わりの中に位置づけて考察。また、経済、宗教、文化といった動向についても最新の知見を踏まえてわかりやすく紹介する。	小和田哲男／著	ミネルヴァ書房
289.1/ミ/	熊楠の星の時間 エコロジー、仏教、科学の向こう側へ。新しい時代を切り拓くために、大天才の可能性を解き放つ！粘菌、華嚴経、レンマという3つの視点から、南方熊楠の思想をあらためて問い直す試み。	中沢新一／著	講談社
291.3/タ/	漂流の島 江戸時代、江戸から南へ約600キロの絶海の孤島、鳥島に、日本人漂流民が続々と流れ着いた。彼らを支えたのは、島から脱出した者たちが生活具や脱出の経緯などを残した洞窟だった…。壮絶なサバイバルと奇跡の生還劇に迫る。	高橋大輔／著	草思社
社会			
331.0/ア/	アリエリー教授の人生相談室 転職したら幸せになれる？頼まれごとはどう断るべき？意思決定や人間関係のお悩み相談に行動経済学の第一人者が全力で回答。	ダン・アリエリー／著	早川書房
367.3/オ/	〈オトコの育児〉の社会学 子育ての主役ではなかったオトコたちに必要なのは気付きと行動である。オトコは日常を通して父親になっていく。迷いながら奮闘する〈オトコの育児〉を、理論的な分析やデータに基づいて社会的に考察する。	工藤保則／編著	ミネルヴァ書房
369.2/タ/	安心して納得できる老後の住まい・施設の選び方 費用はいくら？介護サービスは？「住まいありき」ではなく「入居者ありき」という視点で、高齢期のニーズに合った良質な住居・ホームの選び方を解説。危ない物件・施設を見抜くポイントや、契約上の注意点にも触れる。	田中元／著	自由国民社
自然科学・医学			
498.3/コ/	朝起きられない人のねむり学 睡眠外来を訪れる中学・高校生の具体的な事例をあげつつ、知っておきたいねむりの知識や、快適なねむり・生活リズムを取り戻す方法なども紹介します。	神山潤／著	新曜社
498.3/ナ/	スポーツ吹矢の世界へ、ようこそ! 筒に矢を入れ、呼吸を調べて一気に吹くことで、自然に複式呼吸ができるスポーツ吹矢。その魅力、必要な道具、基本動作、競技規則などを解説。健康効果もQ&Aで紹介する。	中村一磨呂／著	ぶんぶん書房
技術・家政			
524.2/チ/	チソカツの術 様々な地域に眠っている素材や構法を再編集・新開発することで、その地域に仕事をもたらすことを目的とした「地域素材利活用協会」の活動。3人の建築家の個性から始まった、地球環境時代のデザイン運動を紹介する。	山下保博／著	鹿島出版会
590/ヨ/	人生後半をもっと愉しむフランス仕込みの暮らし術 好きなものは見えるところに置いておく。気に入ったものを使って、使って、使いつくす…。パリ生活20年の著者が実践するプラス思考になる暮らしのヒントを、写真とともに紹介する。	吉村葉子／著	家の光協会

産業		
673.9/ヒ/	実家の相続で困らないために今すぐできる空き家対策	日野智志／著 彩図社
	2015年5月に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」で、空き家の固定資産税が6倍に！そうなる前に必要な空き家相続時の手続きや維持管理法、売り方、貸し方などをプロが伝授する。	
芸術・スポーツ		
750/オ/	遊んで育つ手づくりおもちゃ	大江委久子／著 クリエイツかもがわ
	子どもの発達を助けるおもちゃを手づくりしてみませんか？身近な素材でつくれる伝承おもちゃをテーマごとに紹介。発達障害の子どもの療育の助けとなる布おもちゃのつくり方も掲載する。	
783.4/カ/	サッカー通訳戦記	加部究／著 カンゼン
	通訳の仕事で重要なのは、言葉そのものより発言者の意図を正確に届けること。オシム、トルシエ、ジーコなどの名将・名選手の通訳を務めた10人が、日本サッカー史に残る激闘の秘話と通訳としての足跡を語る。	
789/ヨ/	ガチ甲冑合戦でわかった実戦で最強の「日本武術」	横山雅始／著 東邦出版
	戦国時代に実戦的な戦闘術や武術は存在したのか。本当に戦国時代にタイムスリップしたようなガチな合戦を再現する「ガチ甲冑合戦」の結果を通して、合戦で使えた武器や、合戦で勝つために身につけるべき技などを紹介する。	
文学—作家論		
910.2/カ/	川端康成と伊藤初代	水原園博／著 求龍堂
	若き日の川端康成が愛し、初期文学のモデルとなった伊藤初代。初代宛ての未投函の手紙と往復書簡の発見を発端に、川端文学を紐解きながら2人の恋とその後を辿る。初公開の写真資料とゆかりの地の写真で綴る文学紀行。	
910.2/ヨ/	姉・米原万里	井上ユリ／著 文藝春秋
	ロシア語通訳であり、エッセイストだった姉・米原万里の思い出は、いつも食べ物と分かちがたく結びついている。食をめぐる名エッセイの舞台裏を妹・井上ユリが明かす、ユニークな回想録。	
日本文学—小説		
913.6/アオ/	半席	青山文平／著 新潮社
	若き徒目付の直人が上役から振られたのは、腑に落ちぬ事件にひそむ「真の動機」を探り当てる御用だった。分別ある侍たちがなぜ、武家の一線を越えたのか。直人が折れた心の真相に迫る。	
913.6/アサ/	残り者	朝井まかて／著 双葉社
	徳川家に江戸城の明け渡しを命じられる。官軍の襲来を恐れ、女中たちが我先にと脱出を試みるなか、大奥にとどまった「残り者」がいた。彼女たち5人が起こした思いがけない行動とは…。	
913.6/イガ/	スイム!スイム!スイム!	五十嵐貴久／著 双葉社
	世界的超ビッグな大会の競泳で、2種目2連覇をしたオレ。まだまだやってやるぜと思っていたが、引退勧告をうけ…。もう一度、あの舞台で輝いてやる！笑って泣けるスポーツ小説。	
913.6/イト/	横浜 1963	伊東潤／著 文藝春秋
	東京五輪直前の横浜で発生した連続殺人事件。ハーフの日本人警察官・沢田に捜査協力する日系三世の米軍SP・ショーン坂口。やがて明らかになる驚愕の事実とは…。社会派ミステリー。	
913.6/カイ/	ポーラースター	海堂尊／著 文藝春秋
	医学生ゲバラは友人ピョートルとオンボロバイクにまたがり、南米大陸を駆け巡る…。ゲバラ、キューバ革命、ラテンアメリカを書き尽くす4部作の第1弾。	
913.6/カン/	選ばれし壊れ屋たち	鹿島田真希／著 文藝春秋
	次回作が書けずに悩む新人作家の三崎小夜。自称クリエイターの元彼、自意識過剰な先輩…。ちょっと壊れた周囲の人たちに翻弄されながら、戦う快樂に目覚めるまでの成長物語。	
913.6/カツ/	総選挙ホテル	桂望実／著 KADOKAWA
	中堅ホテルに着任した新社長が、業績打開のために打ち出した案は“従業員総選挙”。従業員たちの不満や混乱の中、強行された人材シャッフル。はたしてホテルの行方は？明るく元気になれるお仕事小説。	

913.6/カブ/	炎罪	鎌木蓮／著	講談社
	京都市にある自傷患者専門クリニック兼自宅が全焼。精神科医の焼死に京都府警の捜査は難航する。下京署の片岡真子は医師周辺のある事故を手がかりに、思わぬ着想で犯人を追い詰めていくが…。		
913.6/シノ/	竜と流木	篠田節子／著	講談社
	美しい島に突如現れた凶暴な捕食者。真っ黒で俊敏、どう猛でトカゲのようなその生き物は、口中にさらに恐るべき武器を隠し持っていた…！生物パニックミステリー。		
913.6/シミ/	疾(はし)れ、新蔵	志水辰夫／著	徳間書店
	姫を国許に連れ戻すため、越後岩船藩の江戸中屋敷に向かった新蔵。江戸表と国許の確執、弱小藩の生き残りをかけた幕府用人へのあがき…。巡礼の親子に扮し、手に汗握る逃走劇が始まる！		
913.6/ナカ/	どこかでベートーヴェン	中山七里／著	宝島社
	豪雨によって孤立した校舎に取り残された岐阜県立加茂北高校音楽科クラスの面々。そんな状況の中、クラスの問題児が何者かに殺された。警察に疑いをかけられた17歳の岬は、自らの嫌疑を晴らすため独自に調査を開始する…。		
913.6/ハセ/	神奈備	馳星周／著	集英社
	悲惨な人生を送ってきた少年・潤は“神”に救いを求め、霊山・御嶽へ向かう。そんな潤を、荒天の中、強力な孝が捜索することに。神とは？人間の絆とは？極限状態の人間心理を描いた山岳小説。		
913.6/ヒガ/	罪の終わり	東山彰良／著	新潮社
	なにが善で、何が悪か。崩壊した世界に黒騎士が降り立つ。罪の浄化、悩める者の救済、数々の奇跡、圧倒的な力…。神と呼ばれた男と、その命を狙う影。すべてが壊れた場所で、価値観をめぐる闘争がはじまる一。		
913.6/ミナ/	ポイズンドーター・ホーリーマザー	湊かなえ／著	光文社
	母と娘。姉と妹。男と女。ままならない関係、鮮やかな反転、そしてまさかの結末…。人の心の裏の裏まで描き出す、極上のミステリー全6編を収録。		

展 示 の ご 案 内

■ 7 / 6 (水) ~ 28 (木) ■

リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピック開催間近！ブラジルのことを知る本展

(本館1階)

2016年夏季オリンピック・パラリンピックが、ブラジルのリオデジャネイロで開かれます。ブラジルにまつわる、様々なジャンルの本をたくさんご紹介します。

■ 7 / 30 (土) ~ 8 / 25 (木) ■

読み継がれる戦争文学展

(本館1階)

1945年8月15日、昭和天皇の玉音放送により、ポツダム宣言受諾・連合軍への降伏が日本国民に伝えられました。文学作品に描かれた、日本の戦争を読んでみましょう。



開館時間【本館】平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
7月21日(木)~8月28日(日)は、9:30から開館します。
【分館】全日 9:00~17:00



休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日 (7月 4,11,18,25,29日)

※桜ヶ丘分館は、下記のとおり臨時休館します。

7月10日(日):選挙のため 7月23日(土):桜ヶ丘ハイツ夏まつりのため

23日は、公民館の駐車場がまつりの開催場所になるため駐車できませんので、返却ポストに本を返却する方も駐車できません。ご注意ください。



携帯用
サイト



「図書館だより」2016年7月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。